

高雄だより

臨時特別号

令和3年10月8日

京都市立高雄小学校

校長 坪内 昌子

秋冷がさわやかに感じられる季節になりました，日頃，本校の学校教育にご理解とご協力いただきましてありがとうございます。令和3年度前期の学校評価の集計結果をお知らせいたします。

●確かな学力について

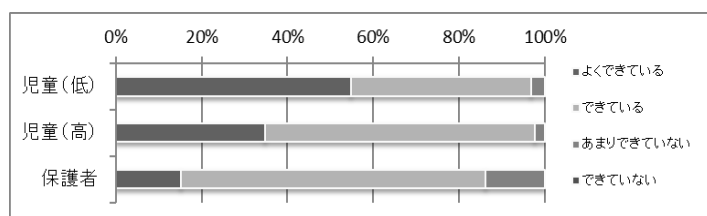
高雄小学校では，学力向上を目標に，学級会活動を核とした話し合い活動の充実，総合的な学習の時間での ESD(持続可能な開発のための教育)における問題解決学習の取組，専科教員による授業を行ってまいりました。

質問1 学校での授業について

低学年…わたしは，べんきょうしていることがわかっています。

高学年…私は，学校の授業がわかっています。

保護者…わが子は，学校での学習内容がわかっている。



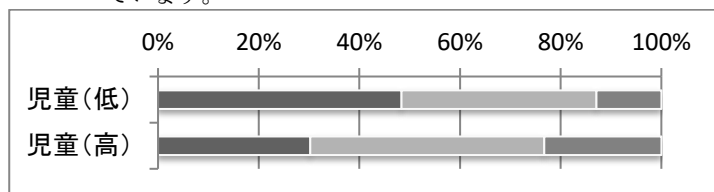
低学年では97%の児童が，高学年でも98%の児童が「よくわかっている」，「わかっている」と答えています。学年が上がるにつれ学習の難易度も上がり，例年では「できていない」「あまりできていない」と答える児童が増えていましたが，今回の結果では，高学年での専科教員による学習やティームティーチングなどが効果を上げているように思われます。少人数を生かした細やかな見取りや個別の学習にも力を入れていきます。

質問3 対話的な学びについて

本校では，特別活動(学級会の「話し合い活動」)に重点を置いています。また，各教科等の学習において，子ども同士が互いの意見を深め合う「対話的な学び」を大切にしています。

低学年…わたしは，せんせいやともだちに，じぶんのかんがえをはっきりはなしています。

高学年…わたしは，先生や友だちに自分の考えをはっきり伝えています。



低学年児童の13%，高学年児童の23%が「話せていない」と回答しています。

学級会で培った「一人一人の意見を大切に，答えをすぐに求めるのではなく，考えを出し合い共に学び合う力」をどの教科においても伸ばしていきたいと思えます。そのために，言語活動を充実させて対話的に問題解決を図る学習を進めると共に，お互いを認め合えるクラスづくりを進めていきます。

質問4 読書教育の充実

本校では，毎日，5校時の前に読書タイムを設けています。また，学校司書による図書館の整備や新着図書の紹介，休み時間の貸出等も行ってきました。

質問 低・高学年…わたしは，学校や家で読書をしています。

保護者 …わが子は，家庭で読書をしている。

	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童(低)	38.7%	32.3%	22.6%	6.5%
児童(高)	26.1%	32.6%	17.4%	23.9%
保護者	4.2%	31.0%	53.5%	12.7%

本校では，毎日の読書タイムに，静かに集中して読書に取り組む姿が見られます。今年度は，教員や学校司書，委員会児童による貸出の機会を増やしたため図書館での貸し出しが増えました。しかし，保護者の回答からは，家庭での読書が「できている」は35%にとどまり子どもたちが家で読書をする機会が少ないことがわかりました。国語科で多読につながるように学習を進めると共に，本に興味を持てる取組を実施するなど「家でも本が読みたい」という読書への意欲を高めたいと思います。

●豊かな心について

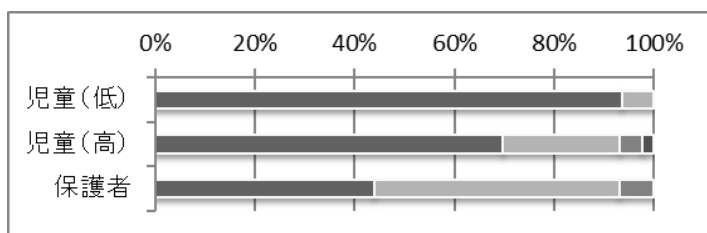
本校では、豊かな心の育成のため、互いを認め合いみんなと共に生きていく力を育む学級活動やESDを中心として支え合い高め合う集団作りを行っています。また、縦割り活動など子どもたち同士のつながりを深め自己肯定感を高める取組を行っています。

質問1 学校で楽しく過ごしているか

低学年…わたしは、がっこうでいつもたのしくすごしています。

高学年…私は、学校でいつも楽しく過ごしています。

保護者…わが子は、楽しく学校に通っている。



質問 わたしはそうじや当番活動をしています。

	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童(低)	93.5%	6.5%	0.0%	0.0%
児童(高)	81.4%	18.6%	0.0%	0.0%

質問 わたしは、集団登校やたてわり活動などで低学年をリードし、はげましています。

	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童(高)	37.2%	51.2%	9.3%	2.3%

「学校で楽しく過ごしているか」では、低学年は 100%・高学年は93%の児童が楽しくすごせていると回答しました。

しかし、7%の児童が「楽しく過ごせていない」と回答していることを真摯に受け止め、100%の児童が楽しく過ごせる学校生活を目指して、自己有用感のもてる教科等教育や、学級づくり、学校行事等に向けて取組を進めます。

「そうじや当番活動をしているか」では低学年・高学年とも100%が「できている」と回答しています。今年度は、縦割り掃除を取り入れ高学年が低学年をリードしながら一生懸命自分達の学校をきれいにしようとする姿が見られています。「集団登校やたてわり活動などで低学年をリードし、はげましているか。」では約90%の高学年児童が「できている」と答えています。木曜日には縦割りグループで縦割り遊びを行うなど学年を超えたつながりの中で、高学年児童の自己有用感を高める取組を大切にしてきました。コロナ禍にあり学年を超えての活動に制限を加えられる期間がありますが、これからも様々な形で子どもたち同士のつながりを大切にする活動に取り組んでいきたいと思います

●健やかな体について

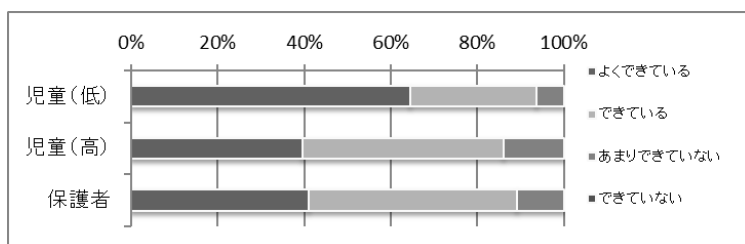
昨年度に引き続き健康管理については、その大切さを痛感しています。様々な制限の中で子どもたちには大きなストレスがかかっています。心と体の健康を保つためにも好ましい生活習慣は大切です。今回、子どもたちの回答からは次のような結果が出ました。

質問1 早寝早起き朝ごはんについて

低学年…わたしは、はやねはやおきをしてあさごはんをたべています。

高学年…私は、早寝早起きをして朝ご飯を食べています。

保護者…わが子が早寝早起きをして、朝ごはんを食べるように働きかけている。



「早寝早起きをして、朝ごはんを食べているか」の質問に、低学年では94%が、高学年では87%が「できている」と回答しています。

例年に比べて、高学年で「できている」と答えた児童の割合は増えていますが、夏休み後に実施した「生活リズム調べ」では、就寝時刻の遅さが目立ちました。就寝時刻の遅くなる理由の一つにインターネットや動画などを遅くまで見ていることがあるようです。保健だよりなどを通してよい生活習慣を身につけることの大切さを指導するとともに、インターネット等との好ましい付き合い方についても情報モラル教育と共に進めていきたいと思っています。